



2025 年 12 月 19 日

各位

ペイロールの給与計算アウトソーシングサービス
「HR BPaaS」に給与計算業務に AI を組み込んだ
計算ロジック構築機能「AI-Calcu」および
給与計算結果検証機能「AI-Check」をリリース

株式会社ペイロール（本社：東京都江東区、代表取締役社長：湯浅哲哉、以下：ペイロール）は、大企業向け給与計算業務アウトソーシングサービス「HR BPaaS（エイチアールビーパース）」にて提供する基幹システム「P3（ピースリー）」において、AI による計算ロジック構築機能「AI-Calcu（エーアイカルク）」と給与計算結果検証機能「AI-Check（エーアイチェック）」をリリースし、一部のお客様を対象に利用を開始いたしました。

両機能はペイロールが今後「HR AI Tech Company」としてサービスを進化させていく計画の第一歩であり、業務プロセスへの適用範囲を順次拡大のうえ、「HR BPaaS」におけるさらなる価値提供を目指してまいります。

【開発背景：ノウハウ活用のフィールドを AI 基盤へ】

ペイロールが提供する「HR BPaaS」は、クラウド型基幹システム「P3」によって企業固有の複雑な計算ロジック構築を実現するとともに、従業員からの申請等に基づく BPO 業務へ自動で連結することができるなどの特徴を持つサービスです。創業以来、計 260 社を超える企業の給与計算を行ってきたノウハウを AI 基盤に生かすことで、すべてのユーザーにそのメリットを提供し、より属人性を排除しながら品質と効率性を担保することができると考え今回の開発に至りました。

【AI-Calcu とは】

ペイロールの基幹システム「P3」は独自の演算式によって構築されており、従来の初期導入工程においては複数回のヒアリングを経て企業固有の手当計算・控除計算設定を行ってきました。今回リリースした「AI-Calcu」では、AI チャットへ自然言語で手当計算・控除計算の方法を入力することで「P3」の計算ロジックが生成され、テスト実行までを可能にします。

これは多種多様な企業固有の手当計算・控除計算に対応できる「P3」そのものの機能と蓄積したノウハウの融合によって実現できるものであり、さらなる品質向上および導入・仕様変更工程の早期化によってお客様の期待に応えることに繋がります。

【AI-Check とは】

「HR BPaaS」においては企業ごとに担当者がアサインされ、毎月の給与計算業務工程やスケジュールの管理等を行い給与計算結果の精度管理を担ってきましたが、給与計算結果検証工程において AI を活用することで BPO サービス価値の最大化に寄与することが可能な機能を開発いたしました。「P3」で実施した給与計算結果と、従業員の基本情報・通勤経路変更等の発生事象・過去の給与支給情報などを照合し、給与計算結果の特異点を見つけるのが「AI-Check」です。検証すべき観点は担当者が自然言語で入力することができ、翌月以降は追加された観点についても自動で検証を行うことが可能となります。

複雑性の高い日本の給与計算は属人化が発生しやすく、労働人口の減少によって給与計算の専門性を持つ人材の確保も難しくなっていく中、今回リリースした両機能では、AI による計算設定や特異点の学習が進むことで属人性の排除・品質および効率性の担保を実現します。

今回の機能リリースはペイロールの AI 戦略の一環であり、ペイロールは今後も「HR AI Tech Company」として、AI を活用したプロダクトの開発および「P3」への組み込みを進めてまいります。同時に、社を挙げて AI プロンプトエンジニアの育成に取り組み、提供価値の最大化に努めてまいります。

■株式会社ペイロールについて

1989年4月1日設立。創業以来、主に大手企業を対象として給与計算業務のBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）を提供しており、260社112万人（2024年3月末時点）の給与計算業務を受託しています。ペイロールの汎用型給与計算サービス「HR BPaaS（エイチアールビーパース）」は、独自開発したクラウド人事給与ソフトと給与計算BPOを統合したサービスで、お客様固有の複雑な給与計算ロジックに対応しつつ、全てのお客様で共通する業務の標準化を推し進めることで、高い柔軟性と拡張性を併せ持っているところが特徴です。

労働人口が不足していく日本において、ペイロールは、人事部が抱える専門性の高いオペレーション業務を担うソフトインフラ企業となり、人事部がより戦略的な業務に注力できる環境を支えます。

【お問い合わせ窓口】

株式会社ペイロール

Innovation Lab

sales@payroll.co.jp

TEL: 03-5520-1380